

学習計画（シラバス）の目的および活用法

1. 作成・発行の目的

将来の大きな夢や進路目標を抱いて川内高校に入学してきた諸君の、今年度の新たな学校生活がスタートしました。今まで培ってきたものを糧とした上で、過去の自分自身の進路意識や学習に対する取組を振り返り、新年度における目標と努力すべきことを再度真剣に考えて、決意新たに学習活動に取り組んで欲しいものです。

さて、3年間の高校生活を通して学習内容を本当に理解し身につけるためには、自主的な姿勢、「自ら学ぶ」姿勢が必要不可欠です。そのためにも、まず将来を見通した人生設計をし、具現化させるために何をすべきかを冷静に考えてみましょう。自ずと毎日の学習にも意義を見いだすことができ、自発的な取組にも繋がると思います。大切なことは、何事にも「前向き」であること、そして「継続する」ことです。以上のことを常に心に留めておけば、悩み・苦しみながらも、級友たちと共に貴重な高校生活を送ることができるはずです。そして高校3年間の最後の集大成とも言うべき“受験”という厳しい現実も、この心構えを実践することで、必ずや乗り越えられると思います。

この学習計画（シラバス）は、川内高校での学習内容を確認してもらうと同時に、今年度1年間を見通した学習活動計画をまとめたものです。以下の点に留意しながら、「自ら学ぶ」姿勢をもって、この1年を充実したものにして、自分の夢を実現して欲しいと心から期待します。

2. 内容・構成

- (1) 各学年の今年度分のシラバスが掲載されています。
- (2) 川内高校における3年間の学習の流れを見通すことができます。
- (3) 今年度の学習計画を、諸考査計画を含めて、1年間を見通して示してあります。
- (4) 各教科・科目の学習方法及び学習内容・到達目標等が詳細に記されており、自己評価もできます。

3. 効果的な活用法

この「学習計画（シラバス）」を活用して、自分の学習習慣を確立し、学力を向上させるため、次の点に留意しよう。

(1) 高校における学習の基本的な心構え

学習の基本的な心構えを認識し、今年1年間の学習活動につなげよう。

(2) 各教科・科目の学習計画・内容等

留意事項は以下の通り。

・[年間学習計画]

今年1年間の学習内容と流れをつかみ、学習や進路に対する自身の目標をしっかり意識しよう。

・[学習内容]

各教科・科目における具体的な学習内容を示してある。教科書を中心にしながら、副教材やプリントなど授業で学習する内容を事前に知ること、予習に役立てることができる。

・[学習方法・心構え]

学習を効果的に進めるためのポイント。我流の学習ではなく、その教科・科目の効果的な学習方法を身につけること。真摯な態度、地道な努力を継続することが、学力向上に繋がる。

・[到達目標]

必ず理解しなければならない具体的な事項を示してある。具体的な目標を意識して学習に取り組むことは、予習や復習の必要性を自覚することにもなり、学習内容を理解するために重要なことである。定期考査をはじめ、諸考査やテストは、この目標への到達度を測るために行われるのはいうまでもない。

・[自己評価]

上記の到達目標に対して、理解できたかどうか、具体的な項目について自分で評価してみよう。自分の学習状況を自己点検することは、考査前や模試の直前チェックにも役立つなど、向上心を一層高揚して学習意欲を高めることになる。

<授業が基本>

高校での勉強の中心は何と言っても授業である。毎日の授業を大切にし、教科書を完全にマスターすれば目的は必ずや達成される。授業をおろそかにして、我流の勉強をすることは時間の浪費でしかない。常に謙虚な気持ちを持ち、素直に先生方の指導に従おう。

(1) 高校の学習は予習が必須条件

小中学校時代から聞き慣れた「予習」の意義を再度考えてみよう。人は長時間の緊張にはなかなか耐えられないものである。本校では1日6～7時間の授業がある。予習の段階で、理解できる箇所と理解できない箇所、及び疑問点を明確にした上で授業に臨む習慣を身につけること。そうすることが結果的に時間の節約になると同時に、授業にも集中できる。教科書ガイドや友人のノートを写すといった楽な予習の愚かさを、理解できていない生徒はいないはずである。

「自力で問題を解決する力」は、日々の予習の習慣を通して身につけることができるものであり、一朝一夕にして成しうるものではない。予習の段階での疑問点をそのままにして授業に臨むのではなく、自分なりに精一杯考えること。現在の高校生に一番求められている部分である。

(2) 授業の受け方

上記の予習ができていれば、授業中は「どうしてだろう」という問題解決への積極的な姿勢で緊張感が張りつめているはずである。予習でも授業でも、理解できなかった箇所は教科担任に質問し、必ずその日のうちに解決するように努めよう。

(3) 復習について

確実な学力を身につけるための要件として「予習」・「授業」と同様に重要なのが「復習」である。

①暗記を必要としない学問は一つとしてない。とにかく、繰り返し覚えることである。

②「予習」・「授業」で理解したことが本当に身に付いているかどうか確認するために「練習問題」に当たって理解を深め、応用力の養成に努めよう。こうした自発的な学習が最も望ましい学習であり、真の学力を身につける一番の近道である。地道な努力無くして栄光はあり得ない。

<読書力と文章力の養成について>

教室で学ぶ知識事項は反復学習で確実に身につけなければならないが、それと同じくらい大切なことに「読書によって自分独自の教養世界」をつくるのが挙げられる。大学入試では論文試験が主流になりつつある。様々なことについての知識を持つと同時に、自分なりの考えを表現する力・相手に伝える力が求められている。こうした力を身につけるために、本や新聞を読む時間を確保し、文章の要旨や自分なりの考えをまとめる習慣を身につけることが大切である。

学習指導要領に基づく学習評価について

本校で目指す教育を明示した「スクールポリシー」の理念に沿い、学習指導要領に基づく学習評価として以下のような観点別学習評価(以下、観点別評価という)を行います。

【観点別評価について】

各教科の教育活動については、シラバスにより大まかな流れ、各単元の学習計画により詳細を説明することになります。

1 観点別評価の目的

- (1) 学習の進歩の状況や良い点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。
- (2) 各教科・科目等の目標の実現に向けた学習状況を把握するために、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して、場面や方法を工夫しながら学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上と資質・能力の育成を図る。

2 学習評価の方法

①「知識・技能」②「思考・判断・表現」③「主体的に学習に取り組む態度」の3観点別に評価基準を定め、いずれも目標に準拠して、「A(十分満足できる)」、「B(概ね満足できる)」、「C(努力を要する)」の3段階で評価します。

観 点	評価のポイント	評価の材料
「知識・技能」	・各教科・科目における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況。 ・既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか。	定期考査・小テスト・振り返りシート等
「思考・判断・表現」	・各教科・科目の知識及び技能を活用して、課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか。	定期考査・パフォーマンステスト・ワークシート・ノート・発表・報告等
「主体的に学習に取り組む態度」	・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか。	授業や課題に取り組む姿勢・パフォーマンステスト・学習課題帳の提出等

【評定について】

評定については、高等学校学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき定めた、当該教科・科目の目標や内容に照らして、その実現状況を総括的に次のように区分して評価します。

「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの	5
「十分満足できる」状況と判断されるもの	4
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	3
「努力を要する」状況と判断されるもの	2
「努力を要すると判断されるもののうち、より努力が必要」な状況と判断されるもの	1



鹿児島県立川内高等学校

スクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション

薩摩川内市にある歴史と伝統ある普通科高校として、グローバルな視点で物事を考える力を身に付けさせ、変化の激しい未来をしなやかに生き抜く力を育み、生徒の可能性を最大限に伸ばし、他者と協働し積極的に社会貢献できる人材を育成する学校を目指します。

教育目標

憲法及び教育基本法の精神を基に、「自律・敬愛・剛健」の校訓を人格形成の基本理念として、文武両道への取組を通して「知・徳・体」の調和がとれた、心豊かで、たくましく、国際的視野に立って主体的・創造的に生きる人間の育成を図る。

「確かな学力」「豊かな人間性」「変化の激しい未来を生きる力」の育成を目指す。

校訓

自 律

敬 愛

剛 健

目指す生徒像

高い目標を掲げ、自らを律し、主体的に考え行動できる生徒

人間性豊かで、積極的に他者と協働し、社会貢献をしようとする生徒

気力・体力・活力に満ち、粘り強く自己実現を目指す生徒

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（こんな資質・能力を育成します！）

- ① グローバルな視点で物事を考え、自ら判断し主体的に行動できる人材を育成する。
- ② 人間性豊かで多様な価値観を尊重し、他者と協働し積極的に地域や社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- ③ 知力と体力をそなえ、生涯にわたって意欲的に学び続け、積極的に未来を切り開こうとする人材を育成する。

探究力（追求力）

思考力

実行力

自己肯定感

多様な個性を尊重する態度

社会貢献

健康増進力

コミュニケーション力

俯瞰力

カリキュラム・ポリシー（こんな教育活動を展開していきます！）

- ① 人権教育を全ての教育の基本とし、家庭・地域及び関係機関と連携を図りながら、生徒の「生きる力」と「自他ともに尊重する心」を育成する教育活動を展開する。
- ② 生徒の学力向上と進路実現のために、学びの先を見据えた指導を展開する。
- ③ 文武両道の精神の下に教育環境の整備・充実に努め、部活動や学校行事等への積極的な取組を通して、心身の健全な育成を図る。

アドミッション・ポリシー（こんな生徒を待っています！）

- ① 本校の教育方針をよく理解し、志望の動機と将来への目的意識がはっきりとしている生徒
- ② 基本的な生活習慣を身につけており、自らを律し他者を尊重し、けじめのある生活を送ることのできる生徒
- ③ 知的好奇心や探究心が旺盛で、主体的に粘り強く学習に取り組むことのできる生徒
- ④ 学校行事、部活動、生徒会活動、地域活動に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮することのできる生徒

科 目	論理国語	学 年	3 年 (文系)	単位数	3 単位
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知技】 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思判表】 (※該当領域：《書くこと》《読むこと》) (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【主態】				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〈教科書〉『精選 論理国語』（三省堂） 〈副教材〉漢字問題集他	・休日課題問題集 ・教材プリント類

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・論証や学術的な学習の基礎を学ぶために、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・情報を断層化して整理し、推論の仕方について理解を深め使用している。	・《書くこと》において、様々な言語活動を通し「題材の設定」「情報収集・内容の検討」「構成の検討」「考えの形成・記述」「推敲・共有」のために必要な多くの事項を身に付けている。 ・《読むこと》において、様々な言語活動をととして、「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成・共有」のために必要な多くの事項を身に付けている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わることで、言葉がもつ価値への認識を深める努力しようとしている。 ・我が国の言語文化の担い手として自覚し、様々な言語活動や読書を通してものの見方・感じ方・考え方を更に深めようとしている。
評価方法	定期考査・小テスト・振り返りシート等	定期考査・パフォーマンステスト・ワークシート・ノート・作文等	授業や課題に取り組む姿勢・言語活動・パフォーマンステスト・学習課題帳の提出等
★	探究力	思考力 コミュニケーション力	探究力 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力	
1 学期	4	《共生社会を創造する》	①文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などを的確に捉える力。 ②文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図を多面的・多角的な視点から評価する力。 ③同じテーマについて、複数の文章を読み比べることで、多様な論点や異なる価値観を知り、新たな観点から自分の考えを深めることのできる力。 ④文章構成や展開、表現の仕方を工夫しまとめることのできる力。	◇論理的文章をより深く理解し、テーマに関して自分なりの考えを持つこと。 ◇「読むこと・書くこと」の言語能力を高め、読解力や思考力・表現力を培う貴重な時間であることを認識すること。 ◇予習や復習、宿題等にしっかりと取り組むこと。 ◇忘れ物をせず、授業を真剣に受けること。 ◇考査受験後、解けなかった問題は訂正し、確実に理解すること。 ◇日頃から、新聞を読んだり読書をしたりして、様々な情報を取捨選択する能力を身に付け、語彙を増やしていくこと。
	5	・「母親のための酸素マスク」宮地 尚子		
	6	《経済について考える》		
	7	・『私』消え、とまらぬ連鎖」高村 薫 ・『欲望』と資本主義」佐伯 啓思 ※【言語活動】読み比べをとし、経済との関わりから社会的課題について論じる。 「入試問題分析」		
2 学期	9	《国際社会を考える》		
	10	・「スポーツとジャーナリズム」阿部 潔		
	11	《心と向き合う》		
	12	・「恐怖とは何か」岸田 秀 ※【言語活動】 「入試問題分析」		
3 学期	1	《近代・現代社会を考える》		
	2	・「コンクリートの時代」隈 研吾		
	3	※【言語活動】 「入試問題分析」		

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	論理国語	学 年	3 年 (理系)	単位数	2 単位
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。【知技】 (2)論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【思判表】 (※該当領域：《書くこと》《読むこと》) (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。【主態】				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〈教科書〉『精選 論理国語』（三省堂） 〈副教材〉漢字問題集他	・休日課題問題集 ・教材プリント類

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・論証や学術的な学習の基礎を学ぶために、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・情報を断層化して整理し、推論の仕方について理解を深め使用している。	・《書くこと》において、様々な言語活動を通し「題材の設定」「情報収集・内容の検討」「構成の検討」「考えの形成・記述」「推敲・共有」のために必要な多くの事項を身に付けている。 ・《読むこと》において、様々な言語活動をととして、「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成・共有」のために必要な多くの事項を身に付けている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わることで、言葉がもつ価値への認識を深める努力しようとしている。 ・我が国の言語文化の担い手として自覚し、様々な言語活動や読書を通してものの見方・感じ方・考え方を更に深めようとしている。
評価方法	定期考査・小テスト・振り返りシート等	定期考査・パフォーマンステスト・ワークシート・ノート・作文等	授業や課題に取り組む姿勢・言語活動・パフォーマンステスト・学習課題帳の提出等
★	探究力	思考力 コミュニケーション力	探究力 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力	
1 学期	4	《共生社会を創造する》	①文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などを的確に捉える力。 ②文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図を多面的・多角的な視点から評価する力。 ③同じテーマについて、複数の文章を読み比べることで、多様な論点や異なる価値観を知り、新たな観点から自分の考えを深めることのできる力。 ④文章構成や展開、表現の仕方を工夫しまとめることのできる力。	◇論理的文章をより深く理解し、テーマに関して自分なりの考えを持つこと。 ◇「読むこと・書くこと」の言語能力を高め、読解力や思考力・表現力を培う貴重な時間であることを認識すること。 ◇予習や復習、宿題等にしっかりと取り組むこと。 ◇忘れ物をせず、授業を真剣に受けること。 ◇考査受験後、解けなかった問題は訂正し、確実に理解すること。 ◇日頃から、新聞を読んだり読書をしたりして、様々な情報を取捨選択する能力を身に付け、語彙を増やしていくこと。
	5	・「母親のための酸素マスク」宮地 尚子		
	6	《経済について考える》		
	7	・『私』消え、とまらぬ連鎖」高村 薫 ・『欲望』と資本主義」佐伯 啓思 ※【言語活動】読み比べをとし、経済との関わりから社会的課題について論じる。 「入試問題分析」		
2 学期	9	《国際社会を考える》		
	10	・「スポーツとジャーナリズム」阿部 潔		
	11	《心と向き合う》		
	12	・「恐怖とは何か」岸田 秀 ※【言語活動】 「入試問題分析」		
3 学期	1	《近代・現代社会を考える》		
	2	・「コンクリートの時代」隈 研吾		
	3	※【言語活動】 「入試問題分析」		

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	文学国語	学 年	3 年 (文・理)	単位数	2 単位
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〈教科書〉『精選 文学国語』（三省堂） 〈副教材〉漢字問題集	・休日課題問題集 ・教材プリント類

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	《読むこと》において、文学的文章を通じて深く共感し、豊かに想像できる力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深められるようにしている。 《書くこと》においては、文章構成や展開に関する知識を身に付け、表現できるようにしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方・感じ方・考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしており、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法	定期考査・小テスト・振り返りシート等	定期考査・パフォーマンステスト・ワークシート・ノート・作等	授業や課題に取り組む姿勢・パフォーマンステスト・学習課題帳の提出等
★	探究力	思考力 コミュニケーション力	探究力 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力
1 学期	4	・【随想】「想像し物語ること」大江健三郎	・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文学的文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深めることができる力。
	5	・【詩】「永訣の朝」宮沢賢治	
	6	・【小説】「檸檬」梶井基次郎	
	7	・【言語活動】「批評文を書く」 「入試問題分析」	
2 学期	9	・【小説】「靴の話」大岡昇平	・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察し、文章の種類を踏まえて内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える力。
	10	・【随想】『雪国』の謎一夜の底とは何か 山本史郎	
	11	・【評論】「陰翳礼讃」谷崎潤一郎	
	12	・【言語活動】「批評文を書く」 「入試問題分析」	
3 学期	1	・【評論】「無常ということ」小林秀雄 ・【言語活動】「批評文を書く」 「入試問題分析」	・文学的文章を通じ、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色についての的確に捉え、深めた自分の考えを表現する力。
	2		
	3		

◇文学作品をより深く理解し、文学のもつ意義についての考えを持つこと。また、「読むこと・書くこと」の言語能力を中心に高め、読解力や思考力・表現力を培う貴重な時間であることを認識すること。
◇予習や復習、宿題等によりしっかりと取り組むこと。
◇忘れ物をせず、授業を真剣に受けること。
◇考査受験後、解けなかった問題は訂正し、確実に理解すること。
◇日頃から、新聞を読んだり読書をしたりして、様々な情報を取捨選択する能力を身に付け、語彙を増やしていくこと。
◇身に付けた力を、大学等入試問題演習で生かせるように意識して臨むこと。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	古典探究	学 年	3 年（文・理）	単位数	2 単位
学習の到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〈教科書〉『精選 古典探究』（大修館書店） 〈副教材〉古文単語 古文文法 漢文句形	・休日課題問題集 ・教材プリント類

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	《読むこと》の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法	定期考査・小テスト・振り返りシート等	定期考査・パフォーマンステスト・ワークシート・ノート・発表・報告等	授業や課題に取り組む姿勢・パフォーマンステスト・学習課題帳の提出等
★	探究力	思考力 コミュニケーション力	探究力 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力	
1 学期	4	・【古文】説話「古今著聞集」	・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化の特色について理解できる。	〈予習のしかた〉 ①教科書をしっかりと読む。 ②古文については、本文をノートに写し、古語辞典でわからない単語の意味を調べながら、自分なりの口語訳をする。 ③漢文については、白文・書き下し文をノートに書き、漢和辞典でわからない単語の意味や句法を調べながら、自分なりの口語訳をする。 〈復習のしかた〉 ①予習の時点でわからなかったところが、理解できたか確認する。 ②授業で学んだ内容を再度確認する。 ③教科書に出てきた内容と関連するいろいろな本を探して、発展的な読書を心がける。 ④考査受験後、解けなかった問題は訂正し、確実に理解する。
	5	・【漢文】故事・逸話「水魚の交はり」		
	6	・【古文】随筆「枕草子」		
	7	・【漢文】漢詩「古体詩」 ・【古文】物語「堤中納言物語」		
2 学期	9	・【漢文】史伝「史記 列伝」	・物語や随筆、日記から、作者の考えや書かれた時代について理解できる。 ・漢文の史伝や物語を読み、内容や展開、主張を的確に捉えることができる。	
	10	・【古文】日記「蜻蛉日記」		
	11	・【漢文】文章「師説」		
	12	・【古文】物語「源氏物語」 ・【漢文】思想「論語」「老子」「韓非子」		
3 学期	1	・【古文】近世の俳諧「俳句」	・思索的な文章で書かれた古文・漢文を読み、作者の考えを的確に捉える事ができる。	
	2	・【漢文】長恨歌と日本の文学「長恨歌」「源氏物語」 ・【古文】芸能「風姿花伝」 ・【漢文】小説「人虎伝」		

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	地理探究	学 年	3 学年（選択）	単位数	文系：3／理系：3 単位
学習の 到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や GIS などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に概念などを活用して多面的・多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けた構想力や、考察・構想したことの説明力、それらを基にした議論能力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重使用することの大切さについての自覚などを深める。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題等
(教)『新詳 地理探究』(帝国書院),『新詳高等地図』(帝国書院) (副)『新編 地理資料 2024』(とうほう) ※授業中に補足プリントや資料等を適宜配布する	『'24 新地理の研究』(啓隆社) ※長期休業中の課題等については授業中に別途指示することがある。

【目指す能力と評価について】

	目指す能力・評価の観点	主な評価方法
知識・技能	①世界の空間的な諸事象の規則性や傾向性、世界の諸地域の地域的特色や課題を理解するために情報を収集し、情報手段の特性や情報の正しさなどに留意しながら正しく判断できる。 ②収集した情報を全体の傾向性や取捨選択、複数の情報の関連性・共通性や創意性などに注意して読み取ることができる。 ③基礎的な情報、資料を基に自分の尺度で分類・整理し、地図や GIS などを使って他の人に分かりやすいようにまとめることができる。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.まとめ作品や発表の内容
思考・判断・表現	①一次情報を基にして思考を高め、すぐに解答できないこと、答えが存在しない問いに対して自らの知識や得られた情報を基に多面的・多角的に粘り強く思考することができる。 ②一般的な価値尺度に加え、自らの価値基準を用いて情報や事項の真偽を判断し、自らの思考・判断の過程を適切な手段や表現方法で他人に分かりやすく伝え、議論することができる。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.授業中の発表内容
主体的に学習に取り組む態度	①1つの情報だけに依拠せず、複数の情報を得て自らの思考や判断の材料を増やし、補強しようとしながら、与えられた情報のみにとどまらず、より広範な観点から課題解決に取り組もうとしている。 ②将来を担う一員としての自覚を持ち、地理的な見方・考え方を通した真偽や公正・正義などの判断尺度を持ちながら、主体的に探究していこうとしている。	a.授業中の発表内容 b.課題への取組・提出状況 c.考査等への取組状況
川内高校グランド デザインとの関連	知識・技能	思考力, 実行力
	思考・判断・表現	思考力, コミュニケーション力, 自己肯定感
	主体的に学習に取り組む態度	実行力, 多様な個性を尊重する態度, 俯瞰力, 社会貢献

【学習内容】 ※月と配当時間は目安

	月	時間	指導内容・考查計画
1 学 期	4～6	30	第1部 現代世界の系統地理的考察 第3章 交通・通信と観光, 貿易 第4章 人口・村落・都市 1学期中間考查
	7	12	第5章 生活文化, 民族・宗教 1学期末考查
			第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 (※2学期へ継続)
2 学 期	8	3	2学期課題・実力考查
			第2章 現代世界の諸地域 2学期中間考查
	9・10	24	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の研究 2学期実力考查
	11 12	12 12	共通テスト対策演習
3 学 期	1	4	共通テスト対策 大学入学共通テスト

【定期, 課題・実力考查に関して】

- 定期考查は範囲を毎回指定します。課題・実力考查は基本的に「既習事項全て」を範囲とします。
- 定期考查は日頃の授業内容の理解・定着度の確認の意味合いを持ちます。基本的に習ったことが出題されるので、点数が取れない＝勉強・対策不足です。指定された範囲を何度も学習し考查に臨むこと。
- 課題・実力考查は共通テストや対外模試を強く意識して出題します。様々な解答方法に対応できるよう実力養成に努めてください。

【学習上のアドバイス】

- ① 教材の忘れ物を絶対にしない。毎回の授業を大切にしましょう。課題提出を指示された場合は、必ず記名して〆切厳守で提出する。未提出や無断での〆切遅れには厳しく対処します。
 - ② 授業での理解が第一です。授業があった日に家で「その日の授業内容が再現できるか」「他人に『こういう授業内容だったよ』と伝えられるか」ができていればOKです。また、予習は特に必要ありません。授業→復習を徹底する。
 - ③ 長期休業中や考查前以外に特別な課題等を課すことはありませんが、②が徹底されず、定着が悪いと教科担が判断した場合はその都度、個人・学級単位で特別課題を課すことがあります。この課題の取組・提出は評価に算入するものとします。
 - ④ 語句の丸暗記では考查や模試、共通テストに対応できません。覚えなければならない語句や地名等がありますが、暗記中心の学習ではなく、理解を中心とした学習の確立に努めましょう。
 - ⑤ 初めて見る図表グラフやデータに対し、自分の持っている知識をどうあてはめるのか、あるいはどのように解釈したら学習したことに合致するかを考えていく「パズルの」な要素を多く含みます。ぜひ、「問題が解ける」楽しみを味わいながら学習を進めてください。
- ※ その他、疑問点等があれば教科担に質問してください。

科 目	日本史探究	学 年	3 学年（選択）	単位数	文系：3／理系：3 単位
学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 我が国の歴史の展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題等
(教)『詳説 日本史』(山川出版社) (副)『新日本史要点ノート（新課程版）』(啓隆社)， 『新詳日本史』(浜島書店) ※授業中に補足プリントや資料等を適宜配布する	『新日本史研究ノート』(啓隆社) ※長期休業中の課題等については授業中に別途指示することがある。

【目指す能力と評価について】

	目指す能力・評価の観点	主な評価方法
知識・技能	①日本の歴史の展開について、世界史的視野に立って各時代の特色及び変遷を総合的に考察し、伝統と文化について認識を深める。 ②時間軸の中での連続性や、地域と日本、世界の空間的な認識、政治や経済、社会、文化、国際環境の変化など様々な面から捉える。 ③文献や絵図、遺物、遺構、地図、統計など歴史学習に関わる様々な資料から必要なものを取捨選択し、有効に活用できる。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.まとめ作品や発表の内容
思考・判断・表現	①「日本史探究」において養われる思考力・判断力を、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、多面的、多角的に考察できる。 ②歴史に見られる課題を把握し、その解決を視野に入れて自分の意見や考えをまとめ、課題解決の在り方を問う力を高める。 ③歴史に関わる事象の意味や意義について、資料等を適切に用い、自分の考えを論理的に説明、論述、議論する表現力を身に付ける。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.授業中の発表内容
主体的に学習に取り組む態度	①歴史に関わる諸事象について、自ら関心をもって学習に取り組むとともに、学習を通してさらに関心を喚起し、探究しようとしている。 ②日本の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、学びに向かう力を養おうとしている。 ③示された課題に対し前向きかつ積極的に取り組もうとしている。	a.授業中の発表内容 b.課題への取組・提出状況 c.考査等への取組状況
川内高校グランド デザインとの関連	知識・技能	思考力，実行力
	思考・判断・表現	思考力，コミュニケーション力，自己肯定感
	主体的に学習に取り組む態度	実行力，多様な個性を尊重する態度，俯瞰力，社会貢献

【学習内容】 ※月と配当時間は目安

	月	時間	指導内容・考査計画
1 学 期	4～6	30	第Ⅲ部 近世 第10章 幕藩体制の動揺
			第Ⅳ部 近代・現代
	7	12	第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開
2 学 期	8	3	第14章 近代の産業と生活
	9	12	第15章 恐慌と第二次世界大戦
	10	12	第16章 占領下の日本
	11	12	第17章 高度成長の時代
	12	12	第18章 激動する世界と日本
3 学 期	1	4	発展学習「現代日本の課題の探究」

【定期、課題・実力考査に関して】

- 定期考査は範囲を毎回指定します。課題・実力考査は基本的に「既習事項全て」を範囲とします。
- 定期考査は日頃の授業内容の理解・定着度の確認の意味合いを持ちます。基本的に習ったことが出題されるので、点数が取れない＝勉強・対策不足です。指定された範囲を何度も学習し考査に臨むこと。
- 課題・実力考査は共通テストや対外模試を強く意識して出題します。様々な解答方法に対応できるよう実力養成に努めてください。

【学習上のアドバイス】

- ① 教材の忘れ物を絶対にしない。毎回の授業を大切にしましょう。課題提出を指示された場合は、必ず記名して〆切厳守で提出する。未提出や無断での〆切遅れには厳しく対処します。
- ② 授業での理解が第一です。授業があった日に家で「その日の授業内容が再現できるか」「他人に『こういう授業内容だったよ』と伝えられるか」ができていればOKです。また、予習は特に必要ありません。授業→復習を徹底する。
- ③ 長期休業中や考査前以外に特別な課題等を課すことはありませんが、②が徹底されず、定着が悪いと教科担当が判断した場合はその都度、個人・学級単位で特別課題を課すことがあります。この課題の取組・提出は評価に算入するものとします。
- ④ 語句の丸暗記では考査や模試、共通テストに対応できません。覚えなければならない語句や人名・事件等がありますが、暗記中心の学習ではなく、理解を中心とした学習の確立に努めましょう。
- ⑤ 初めて見る史料やグラフやデータに対し、自分の持っている知識をどうあてはめるのか、あるいはどのように解釈したら学習したことに合致するかを考えていく「パズルの」な要素を多く含みます。ぜひ、「問題が解ける」楽しみを味わいながら学習を進めてください。

※ その他、疑問点等があれば教科担任に質問してください。

科 目	世界史探究	学 年	3 学年（選択）	単位数	文系：3／理系：3 単位
学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題等
(教)『詳説 世界史』(山川出版社) (副) アカデミア世界史 (浜島書店) 世界史用語集 (山川出版社) 授業用詳説世界史整理ノート (山川出版社)	『新世界史研究ノート』(啓隆社) 『詳説 世界史 10 分間テスト』等

【目指す能力と評価について】

	目指す能力・評価の観点	主な評価方法
知識・技能	①地球の誕生や人類の誕生を視野に入れつつ、古代文明の形成から現代に至る世界の歴史の展開を扱い、諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容という大きな枠組みを基に、世界の歴史を大きく捉えることができるようにする。 ②小・中学校で習得した知識を基に新たに学ぶ知識との関わりを見だし、世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。 ③文献や絵図、遺物、遺構、地図、統計など歴史学習に関わる様々な資料から必要なものを取捨選択し、有効に活用できる。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.まとめ作品や発表の内容
思考・判断・表現	①「世界史探究」において養われる思考力・判断力を、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、多面的、多角的に考察できる。 ②歴史に見られる課題を把握し、その解決を視野に入れて自分の意見や考えをまとめ、課題解決の在り方を問う力を高める。 ③歴史に関わる事象の意味や意義について、資料等を適切に用い、自分の考えを論理的に説明、論述、議論する表現力を身に付ける。	a.定期・実力考査 b.単元ごとの評価課題 c.課題やノート等の提出 d.授業中の発表内容
主体的に学習に取り組む態度	①歴史に関わる諸事象について、自ら関心をもって学習に取り組むとともに、学習を通してさらに関心を喚起し、探究しようとしている。 ②日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深め、学びに向かう力を養おうとしている。 ③示された課題に対し前向きかつ積極的に取り組もうとしている。	a.授業中の発表内容 b.課題への取組・提出状況 c.考査等への取組状況
川内高校グランド デザインとの関連	知識・技能	思考力、実行力
	思考・判断・表現	思考力、コミュニケーション力、自己肯定感
	主体的に学習に取り組む態度	実行力、多様な個性を尊重する態度、俯瞰力、社会貢献

【学習内容】 ※月と配当時間は目安

	月	時間	指導内容・考査計画
1 学 期	4～6	30	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容
			第14章 アジア諸地域の動揺
			第15章 帝国主義中央ユーラシアと東アジア世界
	7	12	第16章 第一次世界大戦と世界の変容
2 学 期	8	3	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成
			第Ⅳ部 地球世界の課題
			第18章 冷戦と第三世界の台頭
			第19章 冷戦の終結と今日の世界
			発展学習「現代世界の課題の探究」
	12	12	共通テスト対策
3 学 期	1	4	共通テスト対策

【定期、課題・実力考査に関して】

- 定期考査は範囲を毎回指定します。課題・実力考査は基本的に「既習事項全て」を範囲とします。
- 定期考査は日頃の授業内容の理解・定着度の確認の意味合いを持ちます。基本的に習ったことが出題されるので、点数が取れない＝勉強・対策不足です。指定された範囲を何度も学習し考査に臨むこと。
- 課題・実力考査は共通テストや対外模試を強く意識して出題します。様々な解答方法に対応できるよう実力養成に努めてください。

【学習上のアドバイス】

- ① 教材の忘れ物を絶対にしない。毎回の授業を大切にしましょう。課題提出を指示された場合は、必ず記名して〆切厳守で提出する。未提出や無断での〆切遅れには厳しく対処します。
 - ② 授業での理解が第一です。授業があった日に家で「その日の授業内容が再現できるか」「他人に『こういう授業内容だったよ』と伝えられるか」ができていればOKです。また、予習は特に必要ありません。授業→復習を徹底する。
 - ③ 長期休業中や考査前以外に特別な課題等を課すことはありませんが、②が徹底されず、定着が悪いと教科担当が判断した場合はその都度、個人・学級単位で特別課題を課すことがあります。この課題の取組・提出は評価に算入するものとします。
 - ④ 語句の丸暗記では考査や模試、共通テストに対応できません。覚えなければならない語句や地名等がありますが、暗記中心の学習ではなく、理解し説明できるまでの学習の確立に努めましょう。
- ※ その他、疑問点等があれば教科担当に質問してください。

令和7年度 公民科「政治・経済」シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	3年文系必修	単位数	4単位
【学習目標】 科目名のとおり、現代における政治、経済、国際関係について、そのしくみやはたらきを学習していく。また、それらの理解をふまえ、現代の政治、経済に関する諸課題を考察していく。つまり、「現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける」ことがこの「政治・経済」という科目の学習目標である。						
【使用教材】 〈教科書〉 政治・経済（東京書籍） 〈副教材〉 政治・経済資料2025（とうほう）						
【学習姿勢・学習方法】 ① 「政治・経済」は単なる暗記科目ではない。教科書をよく読み、教科書の重要語句は前後の文章のなかで覚え、事項の関連性を理解することを重視すること。 ② 授業中心の学習に心がけること。また、復習を重視し、既習範囲はその都度確実にマスターしていくこと。また、授業プリントには考查や模試で問われた内容や新しく得た知識を書き込むなどして、自分だけの「参考書」を作りあげていこう。 ③ 時事的問題に対処するためにも、新聞・ニュースなどに注意と関心を払うこと。						

○観点別学習状況の評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
○社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	○よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

月	学習内容	評価の方法
第1編 第1章 現代日本の政治		
4月	1 民主政治の成立 2 法と民主政治 3 基本的人権の確立 4 現代の民主政治	【知識・技能】【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・資料などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション、プレゼンテーション、レポート
5月	5 世界のおもな政治体制 6 日本国憲法の制定と基本原理 7 基本的人権の保障 8 平和主義 9 国会と立法 10 内閣と行政 11 裁判所と司法 12 地方自治	
6月	13 戦後政治と政党 14 選挙と政治意識 15 世論と政治参加	

6月	第1編 第2章 現代の日本の経済	
	1 経済主体と経済の循環 2 生産のしくみと企業 3 市場経済の機能と限界 4 国民所得と経済成長 5 金融のしくみと機能	【知識・技能】【思考・判断・表現】 ケーススタディ，新聞などからの読み取り，ワークシート，定期テスト 【主体的な態度】 ディスカッション，プレゼンテーション，レポート
7月	6 財政のしくみと機能 7 戦後日本経済の発展 8 日本経済の現状 9 公害と環境保全 10 農業・食料問題 11 中小企業の現状と課題 12 情報化社会の進展と社会の変化 13 消費者問題 14 雇用と労働問題 15 社会保障と福祉 16 少子高齢化社会における社会保障	
9月	17 地域社会の活性化 18 多様な働き方・生き方の実現 19 中小企業の意義と課題 20 日本の財政の健全化 21 持続可能な食料・農業の実現 22 防災と安全・安心な社会の実現	
	第2編 第1章 現代の国際政治	
	1 国際政治の特質 2 国際社会と国際法 3 国際連合の役割と課題 4 戦後国際機関の展開と日本 5 冷戦後の国際関係と日本	【知識・技能】【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・資料などからの読み取り，ワークシート，定期テスト 【主体的な態度】 ディスカッション，プレゼンテーション，レポート
10月	6 地域主義の動き 7 軍縮の動向と課題 8 紛争・難民・テロリズム 9 国際社会における日本の役割	
	第2編 第2章 現代の国際経済	
	1 貿易と国際収支 2 戦後国際経済体制の展開 3 発展途上国の経済 4 グローバル化する世界経済 5 地球環境問題 6 資源・エネルギー問題	【知識・技能】【思考・判断・表現】 統計データ・新聞・資料などからの読み取り，ワークシート，小テスト 【主体的な態度】 ディスカッション，プレゼンテーション，レポート
11月	大学入試共通テストに向けた演習	
12月		
1月		
2月	国公立2次試験，私立大学入試対策演習	

科 目	数学Ⅱ	学 年	3 年文系	単位数	2 単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学Ⅱ」（数研出版）	・クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

【アドバイス】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1 学期	問題演習	第 1 回実力考査 第 2 回実力考査（中間考査） 1 学期期末考査 第 3 回実力考査
2 学期	問題演習	2 学期中間考査 第 4 回実力考査 2 学期期末考査
3 学期	特別授業	

・予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中すること。
 ・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につけること。
 ・自分が学習したことを深めるために，他者へ論理的に説明すること。
 ・自宅での学習は少なくとも 1 時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	数学Ⅲ	学 年	3年理系	単位数	3単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学Ⅲ」（数研出版）	・クリアー数学Ⅲ＋C（数研出版） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅲ＋C（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1 学期	第4章 微分法の応用 第5章 積分法とその応用	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1 学期期末考査 第3回実力考査
2 学期	問題演習	2 学期中間考査 第4回実力考査 2 学期期末考査
3 学期	特別授業	

【アドバイス】

- ・予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中すること。
- ・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につけること。
- ・自分が学習したことを深めるために，他者へ論理的に説明すること。
- ・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	数学A	学 年	3年文系	単位数	1単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学A」（数研出版）	・「類比問題集 I・A」（九数教） ・チャート式 解法と演習 数学 I + A（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

【アドバイス】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1学期	問題演習	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1学期期末考査 第3回実力考査
2学期	問題演習	2学期中間考査 第4回実力考査 2学期期末考査
3学期	特別授業	

・基礎作りの大切な時期である。予習・復習を欠かさず、授業に全力で集中する。

・自分の頭で考え、自分の力で解く姿勢をもち、積極的な学習習慣を身につける。

・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	数学A	学 年	3年理系	単位数	2単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学A」（数研出版）	「類比問題集Ⅰ・A」（九数教） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1学期	問題演習	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1学期期末考査 第3回実力考査
2学期		2学期中間考査 第4回実力考査 2学期期末考査
3学期	特別授業	

【アドバイス】

・基礎作りの大切な時期である。予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中する。

・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につける。

・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	数学B	学 年	3年文系	単位数	2単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学B」（数研出版）	・クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1学期	問題演習	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1学期期末考査 第3回実力考査
2学期	問題演習	2学期中間考査 第4回実力考査 2学期期末考査
3学期	特別授業	

【アドバイス】

- ・予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中すること。
- ・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につけること。
- ・自分が学習したことを深めるために，他者へ論理的に説明すること。
- ・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	数学B	学 年	3年理系	単位数	1 単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学B」（数研出版）	・クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1 学期	問題演習 特別授業	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1 学期期末考査 第3回実力考査
2 学期		2 学期中間考査 第4回実力考査 2 学期期末考査
3 学期		

【アドバイス】

- ・予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中すること。
- ・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につけること。
- ・自分が学習したことを深めるために，他者へ論理的に説明すること。
- ・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	数学C	学 年	3年理系	単位数	1単位
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識・技能】 ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりする。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「高等学校 数学C」（数研出版）	・クリアー数学Ⅱ＋B＋C，Ⅲ＋C（数研出版） ・チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C，Ⅲ＋C（数研出版）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・大きさや向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
評価方法	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 ワークシート（レポート）	ノート ワークシート 振り返りシート 授業態度
★	探究力(追求力)	思考力・俯瞰力・コミュニケーション力	実行力・自己肯定感

【学習内容】

学期	学 習 内 容 等	主な考査
1学期	第3章 複素数平面 第4章 式と曲線	第1回実力考査 第2回実力考査（中間考査） 1学期期末考査 第3回実力考査
2学期	問題演習	2学期中間考査 第4回実力考査 2学期期末考査
3学期	特別授業	

【アドバイス】

- ・予習・復習を欠かさず，授業に全力で集中すること。
- ・自分の頭で考え，自分の力で解く姿勢をもち，積極的な学習習慣を身につけること。
- ・自分が学習したことを深めるために，他者へ論理的に説明すること。
- ・自宅での学習は少なくとも1時間以上確保すること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	物理基礎・物理	学 年	2・3年	単位数	物理基礎2年2単位 物理2年2単位・3年4単位
学習の到達目標	物理的な事物・現象についての観察, 実験などを行い, 自然に対する関心や探求心を高め, 物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則を理解させ, 科学的な自然観を育成する。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〔教科書〕数研出版「物理基礎」 数研出版「総合物理1」「総合物理2」 〔副教材〕数研出版「リードα物理基礎・物理」	数研出版「フォローアップ・ドリル」

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	知識の習得や知識の概念的な理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができています。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか, 自ら学習を調整しようとしている。
評価方法	定期考査, 実力考査, 授業プリント・ワークシート, 実験報告書, 課題の取組・提出状況, 訂正ノート 等 ① 知識・技能 授業中の発言や記述の内容, ペーパーテストなどから状況をみる。観察, 実験において, 基本操作を習得するとともに, 観察, 実験の計画的な実施, 結果の記録や整理, 資料の活用の仕方などを身に付けているかについて, 行動や記述の内容, パフォーマンステストなどから状況をみる。 ② 思考・判断・表現 自然の事物・現象の中に問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を解釈し表現するなど, 科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを, 発言や記述の内容, ペーパーテストなどから状況をみる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしているかを, 発言や記述の内容, 行動などから状況をみる。		
★	探求力(追求力))	思考力, 実行力	コミュニケーション力, 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力
2 年 1 学期	4	第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度 3. 落体の運動	(1) 物理の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力。 (3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度。
	5	第2章 運動の法則 1. 力のはたらき 2. 力のつり合い 3. 運動の法則 4. 摩擦を受ける運動 5. 液体や気体から受ける力 6. 剛体にはたらく力のつり合い	
	6	第3章 仕事と力学的エネルギー 1. 仕事 2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー 4. 力学的エネルギーの保存	
	7	第4章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存則 3. 反発係数	
	9	第5章 円運動と万有引力 1. 等速円運動 2. 慣性力 3. 単振動 4. 万有引力	
2 学期			(1) 予習において教科書を開き, 授業で学習する内容の概要を把握する。 (2) 授業中は内容についてしっかり理解しようという気持ちで臨み, 教師の説明を真剣に受け止め, 納得のいかないことについては必ず質問する。 (3) 習ったことはその日のうちに復習する。また, 教科書の重要ポイントは蛍光ペンでアンダーラインを引いたり書き出したりして, 記憶に残す割合を増やす。 (4) 身の回りの自然現象に積極的に興味・関心・疑問を持つよう心がけ, 自力で解決する力を養う。

3 学 期	10	第2編 熱と気体 第1章 熱と物質 1. 熱と物質の状態 2. 熱と仕事	
	11	第2章 気体のエネルギーと状態変化 1. 気体の法則 2. 気体分子の運動 3. 気体の状態変化 4. エネルギーの移り変わり	
	12	第3編 波 第1章 波の性質 1. 波と媒質の運動 2. 正弦波の式 3. 波の伝わり方	
	1	第2章 音 1. 音の伝わり方 2. 発音体の振動と共振・共鳴 3. 音のドップラー効果	
	2	第3章 光 1. 光の性質 2. レンズと鏡 3. 光の干渉と回折	
	3	第4編 電気と磁気 第1章 電場 1. 静電気力 2. 電場 3. 電位 4. 物質と電場 5. コンデンサー	
	4	第2章 電流 1. オームの法則 2. 直流回路 3. 半導体	
	6	第3章 電流と磁場 1. 磁場 2. 電流のつくる磁場 3. 電流が磁場から受ける力 4. ローレンツ力	
	7	第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波	
	9		
2 学 期	10	第5編 原子 第1章 電子と光 1. 電子 2. 光の粒子性 3. X線 4. 粒子の波動性	
	11	第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子	
	12	発展演習	
3 学 期	1	大学入学共通テスト対策 個別試験対策	
	2		

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	化学	学 年	3 年	単位数	4 単位
学習の到達目標	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深めるとともに、科学的に探究する力や科学的に探究しようとする態度を身に付ける。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
〔教科書〕数研出版「新編 化学」 〔副教材〕博洋社 「化学研究ノート」	インプレス 化学

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができています。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけている。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしている。
評価方法	定期考査、実力考査、ワークシート、実験報告書、課題の取組・提出状況、授業ノート 等 ① 知識・技能 授業中の発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況をみる。観察、実験において、基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身につけているかについて、行動や記述の内容、パフォーマンステストなどから状況をみる。 ② 思考・判断・表現 自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を解釈し表現するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現しているかを、発言や記述の内容、ペーパーテストなどから状況をみる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言や記述の内容、行動などから状況をみる。		
★	探求力(追求力))	思考力、実行力	コミュニケーション力、実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	付けたい力
1 学期	4	第3編 無機物質 第2章 金属元素 (I) 典型元素 1 アルカリ金属 2 アルカリ土類金属	(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力。 (3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度。
	5	3 アルミニウム・スズ・鉛 第3章 金属元素(II) 遷移元素 1 遷移元素の特徴 2 鉄 3 銅 4 銀・金 5 亜鉛 6 クロム・マンガン 7 金属イオンの分離・確認	
	6	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と分析 1 有機化合物の特徴と分類 2 有機化合物の分析	
	7	第2章 脂肪族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸 4 エステルと油脂	
		第4章 芳香族化合物 1 芳香族炭化水素 2 フェノール類と芳香族カルボン酸 3 芳香族アミンとアゾ化合物 4 有機化合物の分離	
		第5編 高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 1 高分子化合物の構造と性質	
2 学期	9	第2章 天然高分子化合物 1 糖類 2 アミノ酸とタンパク質 3 核酸	
	10	第3章 合成高分子化合物 1 合成繊維 2 合成樹脂 3 ゴム	
	11		
3 学期	12		
	1		
	2	入試演習	
	3	大学入学共通テスト 実践演習 個別試験	

- (1) 予習において教科書を開き、授業で学習する内容の概要を把握する。
- (2) 授業中は内容についてしっかり理解しようという気持ちで臨み、教師の説明を真剣に受け止め、納得のいかないことについては必ず質問する。
- (3) 授業ノートを日付まで記入し、習ったことはその日のうちに復習する。また、教科書の重要ポイントは蛍光ペンでアンダーラインを引いたり書き出したりして、記憶に残す割合を増やす。
- (4) 身の回りの自然現象に積極的に興味・関心・疑問を持つよう心がけ、自力で解決する力を養う。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	生物基礎	学 年	3 年	単位数	2 単位
学習の到達目標	1. 生物界を広くとらえた視点を身につける。 2. 生物と遺伝子について、細胞の働きおよび DNA の構造と機能の概要を理解し、生物についての共通性と多様性の視点を身につける。 3. 生物には体内環境を維持するしくみを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識する。 4. 生物の多様性と生態系について理解し、その保全の重要性について認識する。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
(教科書) 高等学校生物基礎 (数研出版) (副教材) 「スクエア最新図説生物」 (第一学習社)	「リード Light ノート生物基礎」 (数研出版) 「WINSTEP」生物基礎 新課程版 (ラーンズ)

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養おとしている。
評価方法	① 教科書・問題集の問題 授業中および課題での各問題への取組状況から評価する。 ② 定期考査・実力考査 学習内容に合わせて問題を出題。基本的な知識が身につけているか、応用的な問題に対応できるかを確かめ、評価する。 ③ 観察・実験等 観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。		① 授業への取組 出欠状況、授業態度、小テストへの取組、提出物等で判断する。 ② ノート等の記載状況 授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができているかなどを評価する。
★	探究力	思考力	実行力

【学習内容】

	月	学習項目	学習のねらい
1 学期	4 5 6 7	第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	第3節 生態系の成りたちを理解する。生物どうしの関係が種多様性の維持にかかわっていることを理解する。 第4節 生態系がもつ復元力について理解する。人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。生態系の保全の重要性について理解する。
2 学期	9 10 11 12	受験に向けての復習 受験に向けての演習	各分野の要点を復習し、相互の関連性に気づく。 演習をととして、科学的思考力や判断力を身につける。
3 学期	1 2	受験に向けての演習	演習をととして科学的思考力や判断力を身につける。

【アドバイス】

- ① 何より授業勝負。重要だと思うところはメモをとったり教科書に線を引きたいしよう。
- ② 復習中心の学習をしよう。生物基礎では予習はしなくても構わない。その代わりに復習をしよう。その日に習ったことはその日のうちに理解すること。質問大歓迎。
- ③ 宿題は必ずやり遂げ、期限内に提出しよう。随時、確認テストを実施する。
- ④ 考査や模試を受けた後は、訂正を確実に行おう。同じミスを繰り返さないことが大切。
- ⑤ 日頃から、新聞やテレビなどの生物の話題に関心を持つことが大切。

科 目	生 物	学 年	3 年理系	単位数	4 単 位
学習の到達目標	生物や生物現象に関わる基本的な概念を理解し、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
「生物」（数研出版） 「スクエア最新図説生物」（第一学習社）	「リード Light ノート生物」（数研出版） 「セミナー生物基礎＋生物」（第一学習社）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いているか。	観察、実験などの経験を通して、目の前の課題を科学的に探究し、解決するための力が身に付いているか。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身につけようとしている。
評価方法	定期考査、実力考査、小テスト、課題の提出状況、実験・観察のレポート、レポート課題など。 1 知識・技能 小テストや定期考査・実力考査などを通して知識の定着度や理解度を計るとともに、実験・観察において基本的操作が身に付いているか、結果を正しく記録・整理しているかなどを評価する。 2 思考力・判断力・表現力 実験・観察をあらかじめ見通しをもって行う習慣がついているか、結果に対して適切な考察や報告ができているか、新たに生じた課題の解決のための科学的手法を自ら立案することができるかを評価する。 3 主体的に学習する態度 授業に取り組む姿勢の他、身の回りの生物や生物現象に興味を持って記録を取ったり、新聞やネットの情報を集めて自らの課題を解決しようとしたりする態度が身に付いているかを評価する。		
★	探究力	思考力	実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	つきたい力
一学期	4	第2章細胞と分子 第3節 化学反応にかかわるタンパク質 第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	・タンパク質と各生命現象の関わりを論理的に説明できる力。 ・遺伝子の構造、複製、発現の仕組みを理解し、有用性や可能性、問題点について考える力。 ・生物の反応、変化などの実験事例やデータなどの情報を整理し読み解く力。
	5	第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸と発酵 第3節 光合成	
	6	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製 第2節 遺伝情報の発現 第3節 遺伝子の発現調節遺伝子 第4節 発生と遺伝子発現 第5節 遺伝子を扱う技術	
	7	第5章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮 第3節 情報の統合 第4節 刺激への反応 第5節 動物の行動	

・生物用語は丸暗記せず、生物現象を説明する言葉としてとらえ、必ずその意味を合わせて覚えること。

・予習よりも復習に力を入れ、「リード Light ノート生物」を用いて必ずその日のうちに授業を振り返ること。時間は10分でもよい。

・小テストは毎回満点をめざし、知識の抜け漏れを防ぐこと。

・生物現象はよく図を使って表される。重要な図は、自分でその図を書けるようにすることが実力アップの秘訣である。

・定期テストは教科書レベルの問題であるが、実力テストは応用力が試される。「WINSTEP 生物」の問題を繰り返し解いて深く考える習慣をつけること。

二 学 期	9	第 6 章 植物の環境応答 第 1 節 植物の生活と植物ホルモン 第 2 節 発芽の調節 第 3 節 成長の調節 第 4 節 器官の分化と花芽形成の調節	・生物の反応, 変化などの実験事例やデータなどの情報を整理し読み解く力。
	10	第 5 節 環境の変化に対する応答 第 6 節 配偶子形成と受精	
	11	第 7 章 生物群集と生態系 第 1 節 個体群の構造と性質 第 2 節 個体群内の個体間の関係 第 3 節 異なる種の個体群間の関係 第 4 節 生態系の物質生産と物質循環 第 5 節 生態系と人間生活	
	12	大学入試共通テストに向けて(演習)	・生態系について理解し, 人間の活動がそれらに与える影響と持続可能な生物資源の利用について考える力。
三 学 期	1	大学入試共通テストに向けて(演習)	・知識を元にして総合的・合理的に判断する力 ・未知の事柄に興味を持って取り組む姿勢
	2	大学入試個別試験に向けて(演習)	

科 目	地学基礎	学 年	3 年	単位数	2 単位
学習の到達目標	1. 地球の誕生から現在に至るまでの変遷について、一連の時間の中で捉え、様々な事象と関連付けながら理解を深める。 2. 地学基礎全体のまとめとして、地学基礎の学習内容を人間生活と関連付けて考える。 3. 大学入学共通テストに対応できる力を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
(教科書) 地学基礎 (啓林館) (副教材) ニューステージ地学図表 (浜島書店) 研究ノート (博洋社) セミナー (第一学習社)	チェック＆演習 (数研出版) 共通テスト対策 実力完成直前演習 (ラーンズ)

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養おうとしている。
評価方法	① 教科書・問題集の問題 授業中および課題での各問題への取組状況から評価する。 ② 定期考査・実力考査 学習内容に合わせて問題を出題。基本的な知識が身についているか、応用的な問題に対応できるかを確かめ、評価する。 ③ 観察・実験等 観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。		① 授業への取組 出欠状況、授業態度、小テストへの取組、提出物等で判断する。 ② ノート等の記載状況 授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができていかなどを評価する。
★	探究力	思考力	実行力

【学習内容】

【アドバイス】

	月	学習項目	学習内容
1 学期	4	第3部 移り変わる地球 第1章 地球の誕生 1 節 宇宙の誕生 2 節 太陽系の誕生	宇宙のはじまりの様子や太陽系の誕生および太陽系の各天体の特徴について学ぶ。 地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。
	5	第2章 地球と生命の進化 1 節 先カンブリア時代 2 節 顕生代	
	6	第4部 自然との共生	
	7	1 節 地球環境と人類 2 節 地震災害・火山災害 3 節 気象災害 4 節 災害と社会 5 節 人間生活と地球環境の変化	
2 学期	9	共通テスト対策演習	マーク形式演習
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	二次対策演習	記述問題演習
	2		
	3		

- ① 授業を大切にしましょう。
重要だと思うところはメモをとったり教科書に線を引いたりすること。
- ② 復習中心の学習をしましょう。その日に習ったことはその日のうちに理解すること。
質問大歓迎です。
- ③ 宿題は必ずやり遂げ、期限内に提出しましょう。随時、小テストも行います。
- ④ 考査や模試を受けた後は、訂正を確実に行いましょう。同じミスを繰り返さないことが大切です。
- ⑤ 日頃から、新聞やテレビなどの地学的な話題に関心を持ちましょう。

3年 年間学習指導計画（学習内容・到達目標）

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2 単位	対象学年	3 年
【到達目標】 1) 運動の合理的, 計画的な実践を通して, 知識を深めるとともに技能も高める。 2) 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。 3) 自己の体力向上を図る能力を育て, 公正, 協力, 責任, 参画などの意識を高め, 健康安全を確保し, 生涯豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。					【知識・技能】 自己や仲間の課題を解決するなどの多様な喜びを味わい, 体力の高め方, 課題解決の方法などについて理解している。各種目特有の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。		
【学習方法・心構え】 1) 運動に主体的に取り組み, ルールやマナーを大切にする。 2) 各運動で, 記録の向上や競争の喜びを味わい, 各種目の技能を高める。 3) 運動の方法, 体力の高め方, 課題解決の方法などを理解する。 4) 柔道・剣道は, 相手との攻防の仕方, 試合の仕方を学ぶと共に, 相手を尊重し, 礼儀正しく活動すること。 5) ルールを理解し, 試合はもちろんのこと審判ができるレベルにまでなること。					【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に取り組むとともに公正に取り組み互いに協力する。また自己の責任を果たし一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることや健康・安全を確保しようとしている。		

科 目	音 楽 I (理)	学 年	3 年	単位数	1 単位
学習の到達目標	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材
教育芸術社『MOUSA 1』 楽典，コールユーブンゲン，コンコーネ，歌曲集 等

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱，器楽，創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	授業や課題への取り組み 提出物の内容 実技試験		
★	探求力・多様な個性を尊重する態度・コミュニケーション力・実行力	探求力・思考力・実行力	探求力・思考力・実行力・俯瞰力・コミュニケーション力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等
1 学期	4	【歌唱】発声練習，ソルフェージュ，芸術歌曲，新曲視唱
	5	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏
	6	【聴音】旋律聴音
	7	
2 学期	9	【歌唱】発声練習，ソルフェージュ，芸術歌曲，新曲視唱
	10	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏
	11	【聴音】旋律聴音，和声聴音
	12	
3 学期	1	【歌唱】課題曲の歌唱
	2	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏
	3	【聴音】旋律聴音，和声聴音

・定期考査を実施しない為，授業での取り組みや，提出物・実技試験等が評価の基準となる。積極的に活動に取り組むこと。

※各単元の学習内容や評価の詳細については，後日示します。

科 目	美術 I	学 年	3 年 理系	単位数	1 単 位
学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材
美術 1 (光村図書)

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	- 造形の要素の働きを理解している。 - 造形的な視点から、表現形式を追究し、その特徴を捉えることができる。 - 意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を追究して創造的に表している。	- 造形的なよさや美しさを感じ取り考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 - 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の工夫を練っている。 - 美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	- 主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。 - 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	・授業や課題の取り組み・ルーブリック評価表を使った自己評価 ・課題作品及び毎時間ごとの振り返りの提出 ・鑑賞活動		
★	探究力・実行力・俯瞰力	思考力・自己肯定感・コミュニケーション力	探究力・多様な個性を尊重する態度 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	
1 学期	4	・オリエンテーション	定期考査を実施しないため、授業での制作活動や課題提出等が評価の基準となる。積極的に活動に取り組むこと。 (進度に不安がある場合、放課後等を活用し、制作してもよい)
	5	・【絵画】鉛筆で身近な素材を描く①(静物デッサン)	
	6		
2 学期	7	・【鑑賞】工業デザイン、視覚デザイン、テキスタイルの魅力について	
	8		
	9	・【絵画】鉛筆で身近な素材を描く②(構成デッサン)	
	10		
	11	・【立体】彫塑による造形制作(油粘土使用)	
	12	・【絵画】鉛筆で身近な素材を描く③(静物デッサン・構成デッサン)	
3 学期	1		
	2		
	3	・美術 I まとめ	

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	書 道 I	学 年	3 年	単位数	1 単位
学習の到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
書 I (光村図書)	補助プリント

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価方法	・授業や課題の取り組み ・積極的な鑑賞活動 ・提出作品 ・ワークシート等の取り組み状況		
	探求力・思考力・実行力	探求力・思考力・コミュニケーション力	探求力・実行力・多様な個性を尊重する態度

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等
1 学期	4	漢字仮名交じりの書 硬筆
	5	漢字の書 古典の臨書（楷書、行書、草書）
	6	漢字の書 古典の臨書（草書、隸書、篆書）
	7	漢字の書 創作（楷書、行書、草書、隸書、篆書の各書体を創作）
2 学期	9	漢字仮名交じりの書 硬筆（硬筆展への取り組み）
	10	創作（半切）
	11	仮名の書 創作（古筆による創作、鑑賞）
	12	生活の中の書 年賀状を書こう
3 学期	1	生活の中の書 カレンダーに文字を書いてみよう
	2	刻字 創作
	3	漢字仮名交じりの書 自由制作

○定期考査を実施しないため、授業態度と作品制作の取り組み状況等が評価の基準となる。

○主体的な態度で授業に取り組み、古典や古筆の理解度を高められるよう努めること。

○古典や古筆の臨書を通して感性を養い、創造力を働かせ、創作活動に活かせるよう努めること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	音 楽 Ⅲ (文)	学 年	3 年	単位数	2 単位
学習の到達目標	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようになる。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材
教育芸術社『Joy of Music』 楽典、コールユーブンゲン、コンコーネ、歌曲集 等

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養おうとしている。
評価方法	授業や課題への取り組み 提出物の内容 実技試験		
★	探求力・多様な個性を尊重する態度・コミュニケーション力・実行力	探求力・思考力・実行力	探求力・思考力・実行力・俯瞰力・コミュニケーション力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	
1 学期	4	【歌唱】発声練習，ソルフェージュ，芸術歌曲，新曲視唱	・定期考査を実施しない為、授業での取り組みや、提出物・実技試験等が評価の基準となる。積極的に活動に取り組むこと。
	5		
	6	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏	
	7	【聴音】旋律聴音	
2 学期	9	【歌唱】発声練習，ソルフェージュ，芸術歌曲，新曲視唱	
	10	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏	
	11	【聴音】旋律聴音，和声聴音	
	12		
3 学期	1	【歌唱】課題曲の歌唱	
	2	【器楽】専門楽器（ピアノ・管打楽器）の演奏	
	3	【聴音】旋律聴音，和声聴音	
			※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	美術Ⅲ	学 年	3 年 文系	単位数	2 単 位
学習の到達目標	美術の創造活動的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材
美術 3（光村図書）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	- 造形の要素の働きを理解している。 - 造形的な視点から、表現形式を追究し、その特徴を捉えることができる。 - 意図に応じて表現方法を創意工夫し、主題を追究して創造的に表している。	- 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創意的な工夫で主題を生成している。 - 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の工夫を練っている。 - 美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	- 主体的に絵画・彫刻、デザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。 - 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	- 授業や課題の取り組み・ループリック評価表を使った自己評価 - 課題作品及び毎時間ごとの振り返りの提出 - 鑑賞活動		
★	探究力・実行力・俯瞰力	思考力・自己肯定感・コミュニケーション力	探究力・多様な個性を尊重する態度 実行力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等
1 学期	4	・オリエンテーション
	5	・【絵画・彫刻・デザイン】大作を作る（自主制作） 1・2年次の経験を活かし自己の主題にあった分野で大作を制作する
	6	
	7	
	8	
2 学期	9	・【絵画】鉛筆の可能性を探る① ・静物デッサン ・構成デッサン ・石膏デッサン
	10	
	11	・【鑑賞】ポートフォリオの制作
	12	・【絵画】鉛筆の可能性を探る②
3 学期	1	・静物デッサン ・構成デッサン ・人物デッサン
	2	・【鑑賞】自画像の魅力に迫る
	3	・美術Ⅲまとめ

定期考査を実施しないため、授業での制作活動や課題提出等が評価の基準となる。積極的に活動に取り組むこと。
（進度に不安がある場合、放課後等を活用し、制作してもよい）

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	書 道 Ⅲ	学 年	3 年	単位数	2 単位
学習の到達目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。 (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。 (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
書 Ⅲ (光村図書)	補助プリント

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価方法	・授業や課題の取り組み ・積極的な鑑賞活動 ・提出作品 ・ワークシート等の取り組み状況		
	探求力・思考力・実行力	探求力・思考力・コミュニケーション力	探求力・実行力・多様な個性を尊重する態度

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等
1 学期	4	漢字仮名交じりの書 硬筆
	5	漢字の書 古典の臨書（楷書、行書、草書）
	6	漢字の書 古典の臨書（隸書、篆書）
	7	漢字の書 創作（古典を生かした創作）
2 学期	9	漢字仮名交じりの書 創作
	10	硬筆（硬筆展への取り組み）
	11	仮名の書 創作（散らし書きによる創作、鑑賞）
	12	生活の中の書 年賀状を書こう
3 学期	1	表装
	2	漢字仮名交じりの書 鑑賞
	3	自由制作

○定期考査を実施しないため、授業態度と作品制作の取り組み状況等が評価の基準となる。

○主体的な態度で授業に取り組み、古典や古筆の理解度を高められるよう努めること。

○古典や古筆の臨書を通して感性を養い、創造力を働かせ、創作活動に活かせるよう努めること。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	英語コミュニケーションⅢ	学 年	3 年	単位数	文系 5 単位 理系 4 単位
学 習 の 到達 目標	(1) 聞くこと 学校、家庭、お店などで行われる会話を、1 度で誤解なく聞き取り、場面状況を正しく理解することができる。また、高校生向けの英語のニュースや講演も同様に聞き取り、ディスコースマーカ―をもとにして話の流れを理解することができる。 (2) 読むこと E メールやパンフレット、個人のブログや SNS などの英文を、単語を調べたりヒントをもらったりせずに誤解なく読み取り正しく内容を理解することができる。また、高校生向けの英語の新聞記事や物語も同様に読み取り、ディスコースマーカ―をもとにして論理構造を理解することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 自分が使える英語を使って、あいさつ、出来事の報告、予定の確認などの日常会話を 1 分程度続けることができる。また、テレビやインターネット等を通して得た情報について、理由や根拠を含めて意見を伝え合うことができる。 (4) 話すこと[発表] 自分が使える英語を使って、[やり取り]と同様の内容を、1 分程度の時間でわかりやすく伝えることができる。 (5) 書くこと 自分が使える英語を使って、日記や作文を、考えの理由や根拠を含めて、3～4 段落構成の 100 語程度で書くことができる。また、聞いたり読んだりしたニュースや講演の内容について賛成・反対の立場を明らかにし、考えや気持ちなどを理由や根拠を含めて、3～4 段落構成の 100 語程度で書くことができる。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
『Heartening English Communication Ⅲ』（桐原書店）	〈別途指示します。〉

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて日常的話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	a. 授業や課題に取り組む姿勢 b. パフォーマンステスト c. 課題、ノート等の提出 d. 小テスト・各レッスンの評価問題・定期考査		
★	探究力	思考力・コミュニケーション力	実行力・俯瞰力

【学習内容】

学期	月	学習内容等	主な考査
1 学期	4	Lesson 1	第 1 回実力考査 1 学期中間考査 1 学期末考査
	5	Lesson 2 Lesson 3	
	6	Lesson 4 Lesson 5	
	7	Lesson 6 Lesson 7	
2 学期	9	Lesson 8 Lesson 9	第 2 回実力考査 2 学期中間考査 2 学期末考査
	10	長文問題演習（標準・発展レベル）	
	11	共通テスト対策	
	12	〃	
3 学期	1	共通テスト対策	
	2	私立大、国公立二次試験対策	
	3	〃	

【アドバイス】

- ・語彙や文法語法は繰り返し取り組み、定着させる。
- ・毎日、最低 1～2 時間程度の学習時間を確保し、可能な限り多くの英文を読んだり、聞いたりする。
- ・最初から辞書を使うのではなく、まず読む、聞く。その後、確認のために辞書を引く。
- ・授業で疑問点を解決し、授業後に復習・習得。

※各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。

科 目	論理・表現Ⅲ	学 年	3 年	単位数	2 単位
学 習 の 到 達 目 標	(1) 話すこと[やり取り] ア 日常的な話題について、目的や場面、状況などに応じて 2 年次までに習得した語彙や文法を適切に用いて、伝え合うことができる。 イ 社会的な話題について、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、目的や場面、状況などに応じて 2 年次までに習得した語彙や文法を適切に用いて、論理の構成や展開を工夫して詳細に話して伝え合うことができる。 (2) 話すこと[発表] 日常的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、2 年次までに習得した語彙や文法を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと ア 街、余暇、スポーツ、映画など身近な話題について、2 年次までに習得した語彙や文法を適切に用いて、ある程度まとまりのある形で詳細に書くことができる。 イ 環境問題、エネルギー問題、移民、人権、SDGs など社会的な話題について 2 年次までに習得した語彙や文法を適切に用いて、論理的に自分の考えを書くことができる。				

【使用教材】

教科書・副教材	課題帳等
『English Logic and Expression III be Clear』（三省堂）	『英作基本文例 600』（啓隆社）

【目指す能力と評価について】

★は川内高校グランドデザイン(育てたい資質・能力)との結びつき

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	a. 授業や課題に取り組む姿勢 b. パフォーマンステスト c. 課題、ノート等の提出 d. 小テスト・各レッスンの評価問題・定期考査		
★	探究力	思考力・コミュニケーション力	実行力・俯瞰力

【学習内容】

【アドバイス】

学期	月	学習内容等	主な考査
1 学期	4 5 6 7	Lesson 1 A City Worth Visiting Lesson 2 Our Hometowns Lesson 3 What Makes a City Attractive? Lesson 4 How Do You Spend Your Time? Lesson 5 Try Something New Lesson 6 The Art of Translation	第 1 回実力考査 1 学期末考査
2 学期	9 10 11 12	Lesson 7 Combatting Climate Change Lesson 8 Future Energy Sources Lesson 9 Discussing the Environment Lesson 10 Globalization and Immigration Lesson 11 What is Fair Trade? Lesson 12 Helping to Fight Poverty	第 2 回実力考査 2 学期中間考査 2 学期末考査
3 学期	1 2 3	大学入学共通テスト、各大学個別試験への対応	

- ・可能な限り多くの例文を使いこなせるように覚える。
- ・自分の意見や考えを論理的に伝えるためにパラグラフライティングの型を身につける。
- ・様々なトピックについて英文を書き、スピーチやディスカッションの基礎を固める。

※ 各単元の学習内容や評価の詳細については、後日示します。